

品川区立西大井保育園

テーマ「からだ」

設定理由「運動遊びや健康教育を通して体についての興味関心が高まっている。新たな体験をすることでそこで得た喜びや感動や発見を保育者や友達に伝え、自らが体を使って遊ぶことに興味をもち関心を深めていきたい」

対象年齢：4 歳児

「おおきなオセロ、どうしたらうまくかえせるかな？」

(1月9日)

活動のねらい

自分の体の使い方を考えようとする

カードゲーム等のルールのある遊びに興味が出てきているので、体を使ってルールのある遊び（大型オセロ）をする中で、体を動かす楽しみを感じてほしい

用意したもの・道具

- ・大型オセロのコマ
- ・ホワイトボード
- 写真や文字で
- 子どもの気づきや思いを共有



子ども達の様子

説明の後、1チームごとにひっくり返してみる。

「たくさんひっくり返そう」「他の子にぶつからないようにね」
周りをよく見る子、自分に近いところからひっくり返す子、両手で二枚のオセロを返す子、方法は様々。しゃがんだり座り込んだり立ったままだったり、ひっくり返す姿勢も様々。

最後、黒チーム白チームに分かれてゲームをしてみる。



クラスに戻った後、写真を見ながら、気づきを共有する時間。

「走ったり止まったりしてはやくできた」「おしりを付けると時間がかかる」「頑張ったのに負けちゃった」等、気づきや思いを話す。

保育者の振り返りと気づき

振り返りの時間で子どもの言葉を聞き、子どもなりに考えたり工夫したりしていると感じる。何を頑張ったのか、どうするとうまくいったのか、他の子にも気づきを共有できた。

次回遊ぶ前にどうしたら早くひっくり返せるのか考える“作戦会議”の時間を設ける。

「オセロゲーム もう一回！」

(1月23日)

活動のねらい

工夫しながらオセロゲームをしてみる

前回のことを振り返り、どうすると早くひっくり返せるか考えてみる

2グループに分けて行う

用意したもの・道具

- ・オセロゲームのコマ（枚数を増やす）
- ・ホワイトボード・前回の写真
（視覚的に気づきの共有）
- ・園庭を広く使えるよう他クラスと調整

どっちが多いかな？

視覚的にも分かるよう
重ねて比べてみる



保育者の振り返りと気づき

前回の様子を振り返ったことで、子ども達は考えて取り組んでいた。

ゲーム結果に嬉しい！悔しい！気持ち様々だが、子どもたちなりの発想で工夫しておりいきいきとした表情で遊んでいる。継続して遊んでいきたい。

子ども達の様子

まずは作戦会議

「おしりをつけない方がいい」「片膝つくのもいいんじゃない？」

「重ねて返すと早そう」「カエルとびしながら返すのはどう？」

→いろいろ試してみよう！



終わった後クラスに戻り、振り返りを行う

「どうするとうまくいくかな？」やってみながら、話し合い



「園庭で特訓しよう！」走って、タイヤ渡りして・・・

「せんせー！なんだか足がはやくなったみたい！！」



オセロゲーム「〇〇作戦！」

(1月30日・2月6日)

活動のねらい

自分たちで体を動かす遊びを考え、それで遊ぶ楽しみを感じる

オセロをより多くそして早くひっくり返すために、どんな動きをすると効果的か「作戦」を考える

用意したもの・道具

・巧技台　・ビーム（一本橋）　・体育棒（木製ハードル）　等

※子どもたちが考えて試せるように、さまざまな道具を用意した

保育者の振り返りと気づき

子ども達と同じ目的をもち、具体的にやりたいことを共有しているので、達成しようと繰り返し挑戦しようとしている。普段自分の気持ちを言葉にするのが苦手な子ども、友達に自分の考えを伝えようとし、また自分の考えた作戦が採用されることで、達成感を感じる姿もあった。



「足がつかれたあ！
でも強くなった！」

子ども達の様子

子ども自身の発想で「作戦」を実施していく

① カエルとび作戦「ジャンプしながら返せばうまくいくはず！」

② ぱぱぱ作戦「手や足を素早く動かす！」

③ いろいろ動いてみる作戦

「ジャンプは足が強くなる！」「いろんな跳び方やってみよう」

「走って跳んで動いてみよう！」「バランスも大事！」

